

ものづくり・スマートものづくり

彭志誠(Peter Peng)

デルタ電子株式会社ロボット事業処 処長

【要旨】

スマート化の波が全世界の製造業を席捲しており、ドイツのインダストリー4.0 やアメリカの AMP 計画、あるいは台湾のスマート機械政策ではいずれも IT (Information Technology) と OT (Operational Technology) 技術の統合により、製造現場の情報を可視化させ、異なるシステムに適用することでデータの価値をさらに高めることに力を注いでいる。

オートメーション化がなされたものづくりシステムは繁雑であり、設備と製造プロセスは連動しているため、新たな機能や新たなマシンが導入されるたびに全体に影響を及ぼす。デルタ電子もシステム設備から製造管理までを統合し、システムを迅速にネットワークに接続させると同時に、機能をニーズに合わせるという2つの課題に挑戦することにより、完全なサービスを提供している。

デルタ電子が目指しているのは、デジタル化、可視化、高度統合により顧客の完全なスマートものづくりシステムの構築をサポートし、さらにはシステムのスマート化がしるべき効果をもたらし、顧客とともにスマートものづくりによる生産レベルアップという任務を完成することにより、単なるものづくりではなく、スマートものづくりに達することにある。